

ニチイのほほえみ土井花梨

地域密着型サービス自己評価票（網掛け部分は外部評価も行う調査項目）

取組んでいきたい項目には「1」が入っています。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取組んで いきたい 項目	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
			理念に基づく運営 1～5 (自己 1～24・外部 1～14)	自己評価24項目・外部評価14項目	9	
理念に基づく運営	1		理念の共有(自己 1～3・外部 1～2)	自己評価3項目・外部評価2項目	1	
		1 外部評価1	<b>地域密着型サービスとしての理念【外部評価】</b> 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域に密着した生活の提供を理念としており衣食住に関するものにおいては地域利用を優先的に行っているが外部に発信することにおいてはまだ不十分である。	1	地域との交流をもっと深めるような具体的方策をもっと考えていきたい。近隣の施設での催し物に参加、小中学校の催し物の見学をお願いする等。
		2 外部評価2	<b>理念の共有と日々の取り組み【外部評価】</b> 管理者と職員は、理念を共有し理念の実践に向けて日々取り組んでいる	毎日朝礼時、ホーム会議の始まりのときに理念の唱和を行い意識付けを行っている。又会議の時などその理念について話し合い意見を交わす機会を持っている。	0	
		3	<b>家族や地域への理念の浸透</b> 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	家族会、運営推進会議においてお話をさせて頂いている。又、参加されていないご家族には通信を通してご理解いただけるよう努めている。	0	
			2 地域との支え合い(自己 4～6・外部 3)	自己評価3項目・外部評価1項目	3	
		2	4 外部評価3	<b>隣近所とのつきあい</b> 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	利用者様の散歩や買い物などの折、道でお会いしたときなどご挨拶はよくする。学校帰りの小中学生は挨拶する習慣があるようなので気軽に声をかけている。時にはご近所のお庭を拝見させていただくこともある。	1
		5 外部評価3	<b>地域とのつきあい【外部評価・重点】</b> 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内の回覧版を回していただき情報を流してもらっている。子供会の廃品回収などは協力して回収して頂いている。	1	町内清掃や催し物などにはもっと積極的に参加できるようにしたい。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
理念に基づく運営	2 支地 え域 合と いの	6	<b>事業所の力を活かした地域貢献</b> 利用者への支援を基盤に、事業所々職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	職員間でその意識はもっているが実際に話合うまで至っていない。	1	町内会長様などに定期的にお話を伺い、何かお役に立てることなどないか相談してみる。(夜間パトロール、草取り等)
		3	理念を実践するための制度の理解と活用(自己 7~11・外部 4~7)	自己評価5項目・外部評価4項目	2	
		7 外部 評価 4	<b>評価の意義の理解と活用【外部評価・重点】</b> 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	前回の自己評価表を常に見やすい場所に置き折をみて読みながら改善すべき点を認識し、改善できるように取り組んでいる。	0	
		8 外部 評価 5	<b>運営推進会議を活かした取り組み【外部評価・重点】</b> 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議で出された問題点などはホーム会議やユニット会議において更に討議し、更によりよいサービスが提供できるように努めている。	0	
		9 外部 評価 6	<b>市町村との連携【外部評価・重点】</b> 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	定期的に担当ケアマネージャーが包括センターの方へ出向き問題点を抱えている利用者様のサービスについて情報を流すようにしている。	0	
		10 外部 評価 7	<b>権利擁護に関する制度の理解と活用【外部評価・追加】</b> 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	管理者は実践者研修や管理者研修において左記の制度を学び理解し、職員には機会あるごとに話している。	1	今後定期的に勉強会など開催し学べる機会を設けたい。又参考文献などの閲覧をできるようにしたい。
		11	<b>虐待の防止の徹底</b> 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	社内研修や外部研修を通して学んでいる。会議やカンファレンスでも議題にあがることがあるのでその都度細かく説明している。	1	一部の新入社員の教育を早急に行いたい。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
		4	理念を実践するための体制(自己 12~18・外部 8~10)	自己評価7項目・外部評価3項目	0	
理念に基づく運営	4 理念を実践するための体制	12	<b>契約に関する説明と納得</b> 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居前契約を交わす際に、口頭にて文書を通し説明を行い、ご理解のうえ同意を頂き署名捺印いただいている。	0	
		13	<b>運営に関する利用者意見の反映</b> 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族を通してのご意見が多い為、スタッフ管理者全体で連携を取り内容を把握し、改善できるよう努めている。	0	
		14	<b>家族等への報告【外部評価・重点】</b> 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	月一回の家族通信を通して日々の暮らしぶりや健康状態などの報告を行っている。ご家族の面会の折にも口頭にてお話するようにしている。	0	
		15	<b>運営に関する家族等意見の反映【外部評価・重点】</b> 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	定期的な運営推進会議や家族会を通して意見を表せるよう行っている。又記録やカンファレンスを通して反映できるよう努めている。	0	
		16	<b>運営に関する職員意見の反映</b> 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月初旬にユニット会議を開き職員と管理者で意見を交わしている。議事録に基づき後日改善点において反映できるようにしている。	0	
		17	<b>柔軟な対応に向けた勤務調整</b> 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	できるだけ余裕を持った人員配置ができるよう努めている。緊急などの場合も柔軟に対処できている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
理念に基 づく運 営	4 理 念 の 実 践 制 す	18	<b>職員の異動等による影響への配慮【外部評価】</b> 運営者は利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	日中の人員配置など偏りの内容（新人ばかりにならないよう）配慮したシフト作りをしている。又離職者になるべくでないよう環境作り、フォローアップに努めている。	0	
		5	人材の育成と支援(自己 19~24・外部 11~14)	自己評価6項目・外部評価4項目	3	
	5 人 材 の 育 成 と 支 援	19	<b>人権の尊重【外部評価・追加】</b> 法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。 また、事業所で働く職員についても、その能力を発揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している	定期的な各職員とのヒアリングを行い仕事上の問題点がないか話せる機会を作っている。管理者、職員共々お互いに成長できるよう目標を持って仕事できるよう努めている。	0	
		20	<b>人権教育・啓発活動【外部評価・追加】</b> 法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる	参考になる文献や書籍など持ち寄り職員にも閲覧できるよう配慮している。又研修などの情報も常に流すようにしている。	1	機会があれば勉強会など開催したい。又研修などの情報も積極的に流し、参加を促すようにしたい。
		21	<b>職員を育てる取り組み【外部評価】</b> 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	各職員のケアを見守り、必要な点は助言や指導を行っている。又、経験年数に応じて資格取得のアドバイスを行ったりしている。外部の講習会の案内を事務室内の掲示板に掲示したりし参加を呼びかけている。	0	
		22	<b>同業者との交流を通じた向上【外部評価】</b> 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	研修や講習会などに参加し同業者との交流する機会を持てる様にし、意見交換などを行いホームの質の向上に努めている。又、定期的に他事業所へ訪問し意見交換などを行っている。	1	他事業所との勉強会を開催したりし、ネットワークの構築作りを行っていき、更なるサービスの質の向上に努めていきたい。
		23	<b>職員のストレス軽減に向けた取り組み</b> 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	会議にてストレス確認テストを行ったり、各職員とのコミュニケーションにてストレスの原因の探求に努め、軽減できるよう配慮している。又、会社の組合活動においてメンタルケアの窓口が設置してあり、職員は全員利用することができるようになっている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
	5 と人 支材 援の 育成	24	<b>向上心を持って働き続けるための取り組み</b> 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	頑張ってくれている部分は誉め、感謝の言葉をかけるように努めている。ホーム会議にて資格取得について説明したり向上心を持って働きつづけられる様に取り組んでいる。	1	各職員、何が本人の向上心に結びつくか違うので個人面談や日頃の会話にて更にリスクマネジメントを行っていきたい。
安心と信頼に向けた関係作りと支援 1～2 (自己 25～34・外部 15～16)				自己評価 10 項目・外部評価 2 項目	1	
安心と信頼に向けた関係作りと支援	1 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 (自己 25～28・外部 15)			自己評価 4 項目・外部評価 1 項目	0	
	1	25	<b>初期に築く本人との信頼関係</b> 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入居前にご本人様より詳しいお話を訪問を行い伺うようにしている。入居後も生活に慣れるまではより多くの会話を持つよう全職員で努めている。	0	
		26	<b>初期に築く家族との信頼関係</b> 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	訪問調査から始まり入居後もご家族との連絡は密にとり相談を受けやすい環境作りに努めている。	0	
		27	<b>初期対応の見極めと支援</b> 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ケアマネージャーと連携を取り必要と思われるサービスについてはお客様、ご家族に情報を流すようにしている。	0	
		28 外部 評価 15	<b>馴染みながらのサービス利用【外部評価】</b> 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	ご本人の意向を伺いながらスタッフ間でしっかりした引継ぎを行い生活に慣れて頂くまで細かな配慮ができるよう努めている。	0	
	2 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 (自己評価 29～34・外部評価 16)				自己評価 6 項目・外部評価 1 項目	1
	係り 2 と 新 た な 関 係 づ く へ の 支 援	29 外部 評価 16	<b>本人と共に過ごし支えあう関係【外部評価】</b> 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	場面に応じ利用者様の助けを借りたりしながら、ホームでの生活をより良いものにできるよう人間関係の構築に努めている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
安心と信頼に向けた関係作りと支援	2 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	30	<b>本人を共に支えあう家族との関係</b> 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	面会の折々にご本人様の様子を話す機会を作ったりご家庭での生活（以前の）や嗜好について伺ったりしている。	0	
		31	<b>本人と家族のよりよい関係に向けた支援</b> これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	ご本人様は元よりご家族のお話にも耳を傾けお互い良い関係でおられるよう調整しながら支援している。	0	
		32	<b>馴染みの人や場との関係継続の支援</b> 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご利用者様の馴染みのものについての情報は各スタッフが把握しており常々話題を持てるよう努めている。又スタッフ間で情報交換を申し送りや管理日誌などで行っている。	0	
		33	<b>利用者同士の関係の支援</b> 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	利用者様同士の会話にも必ず職員も加わりお互いに気持ちのよい関係ができるよう調整に努めている。アットホームな雰囲気作りに努めている。	0	
		34	<b>関係を断ち切らない取り組み</b> サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	退去後も継続的な関わりが必要な家族においては連絡を取り合ったりし相談に応じているがそれ以外は当方よりご連絡することはない。	1	催し物のご招待など通じて関わりを持つことも考えている。
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント 1～4 (自己 35～51・外部 17～22)				自己評価17項目・外部評価6項目	3	
	1	一人ひとりの把握(自己 35～37・外部 17)		自己評価3項目・外部評価1項目	0	
	1 の 一 把 人 握 ひ と り	35 外 部 評 価 17	<b>思いや意向の把握【外部評価】</b> 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ご本人にとってより快適に暮らしていけるよう月ごとのカンファレンスで個々に話し合い常々修正できるよう職員、ケアマネージャーと連携を取り行っている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	1 一人ひとりの把握	36	<b>これまでの暮らしの把握</b> 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご本人やご家族のお話を通してこれまでの生活環境については大体把握できている。スタッフ間でその情報を共有できるようにしている(個人情報ファイル)	0	
		37	<b>暮らしの現状の把握</b> 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	個別ケア対応を基本にしながらの共同生活なのでご本人にとり無理のない、又、メリハリのある生活ができるよう努めている。	0	
	2	本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し (自己 38~40・外部 18~19)	自己評価3項目・外部評価2項目	0		
	2 介護計画の作成と見直し 本人がより良く暮らし続けるための	38 外部評価18	<b>チームでつくる利用者本位の介護計画【外部評価】</b> 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	毎月のケアカンファレンスにおいてお一人お一人のケアのあり方について話し合い、変更継続しながらケアを進めている。ご家族様の意見など汲み取り反映できるよう、連絡経路をはっきりさせ早期に実行できるようにしている。	0	
		39 外部評価19	<b>現状に即した介護計画の見直し【外部評価】</b> 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	長期・短期目標の期間時の見直しの他、月1度のケアカンファ・モニタリングでの見直しも行い現状に即す計画を作成するようにしている。変化を生じた場合本人・家族・主治医を含め関係者と連絡をとり相談し対応している。	0	
		40	<b>個別の記録と実践への反映</b> 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護記録や管理日誌に基づき一ヶ月ごとに見直し介護計画の修正の際に活かすようにしている。	0	
	3	多機能を活かした柔軟な支援(自己 41・外部 20)	自己評価1項目・外部評価1項目	0		
	3 柔軟な支援	41 外部評価20	<b>事業所の多機能性を活かした支援【外部評価】</b> 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	医療機関やその他の業者との連携をうまく調整し安心して生活を送れるよう支援している	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	4		本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 (自己 42~51・外部 21~22)	自己評価10項目・外部評価2項目	3	
		42	<b>地域資源との協働</b> 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	催し物の時など地域、知人を通してなど多方面のボランティアの方々に協力いただいている。	1	地域の公民館の催し物は回覧版や近所の掲示板に情報があるため機会があれば参加を促したい。
		43	<b>他のサービスの活用支援</b> 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネージャーやサービス事業者と話しあい、他のサービスを利用するための支援をしている	本人の意向や必要性に応じて他のサービスを利用するために情報提供し、他のケアマネージャーやサービス事業所と連携をとり、支援している。	0	
		44	<b>地域包括支援センターとの協働</b> 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	現在協働している事例はないが、運営推進会議でお客様の状況をお話し相談する機会をもっている。	1	運営推進会議以外にも連絡をとりあい地域包括支援センターと協働したいと考えている。
		45 外部 評価 21	<b>かかりつけ医の受診支援【外部評価】</b> 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	往診医療を利用していただき特変などあった場合主治医との電話連絡で、迅速に対応できるようにしている。又内科以外にも往診のシステムを利用いただいている。	0	
		46	<b>認知症の専門医等の受診支援</b> 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	提携医療機関は、いずれの医師も認知症に詳しいため状況に応じ指導・助言を仰いでいる。	0	
		47	<b>看護職との協働</b> 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	利用者のかかりつけ病院の看護職に必要時は報告を行ったり指導を仰いでいる。	1	H19年10月までは医療連携体制を整備していたが会社継承に伴い解約となったため、現在、新たな契約先を選定している。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	4	48	<b>早期退院に向けた医療機関との協働</b> 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	日頃より各利用者とのかかりつけ医との情報交換は行い連携を図り、早期退院に向けた調整を行っている。	0	
		49 外部評価 22	<b>重度化や終末期に向けた方針の共有【外部評価】</b> 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	ケアプランの立案や見直し時期において家族・本人と話し合い方針の共有を図っている。	0	
		50	<b>重度化や終末期に向けたチームでの支援</b> 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医等とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	利用者の主治医、医療機関の体制、家族と本人の希望などの観点から終末期に向けた支援を行っている。過去の事例とし、ホームにて看取りを行ったお客様がいる。	0	
		51	<b>住み替え時の協働によるダメージの防止</b> 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	グループホームから別の空間へ移られる際は受け入れ施設などへの情報提供を行っている。在宅復帰された場合は家族に状況報告を行い、退去後も相談を受け入れている。	0	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 1～2 (自己 52～89・外部 23～33)				自己評価 3 8 項目・外部評価 1 1 項目	13	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1	その人らしい暮らしの支援 (1)～(5) (自己 52～81・外部 23～30)		自己評価 3 0 項目・外部評価 9 項目	12	
		(1)	一人ひとり尊重(自己 52～54・外部 23～24)	自己評価 3 項目・外部評価 2 項目	0	
		52 外部評価 23	<b>プライバシーの確保の徹底【外部評価】</b> 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個人情報全て別室棚に保管している。又記録などは誰も目に入らない場所にて記入をしている。個人の情報が漏れることのないよう配慮している。	0	
		53	<b>利用者の希望の表出や自己決定の支援</b> 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	ケアするごとに必ずご本人に声かけ意向を尋ねるようにしている。まずご本人の希望を優先的に考えている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	54 外部評価 24	<b>日々のその人らしい暮らし【外部評価】</b> 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	日中の生活リズムは個別対応を優先しており一人一人の生活パターンを全職員が把握できるよう努めている。	0	
		(2)	その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 (自己 55~60・外部 25~26)	自己評価 6 項目・外部評価 2 項目	5	
		55	<b>身だしなみやおしゃれの支援</b> その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	毎日に変化を楽しめるようにできる範囲でおしゃれ、整容、美容に配慮し心がけているが楽しめるまでは至っていない。	1	月に何度かおしゃれの日を決めて個人個人に応じたおしゃれの方法を考えたい(化粧・ネイル・洋服)ネイルは今月より実施する。
		56 外部評価 25	<b>食事を楽しむことのできる支援【外部評価】</b> 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	個々のお客様の状態により身体的にできない方もいらっしゃるため、準備においては現在のところ準備、片付けにおいては一緒にすることは非常に少ない。	1	一人一人の好み、食事形態を知った上で献立を考えたい。利用者様にリクエストしていただきその意見を反映し準備したい。又部分的にも一緒にできることはないか考え、参加していただけるようにしていきたい。
		57	<b>本人の嗜好の支援</b> 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	飲み物、おやつに関してはお好きなものを出せるよう希望を取りお出ししている。	1	手作りを多く取り入れるなど雰囲気作りにも力を入れ、楽しみながらできるよう、選択肢を増やしていきたい。
		58	<b>気持ちよい排泄の支援</b> 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	訴えない方にはお声かけし、トイレ誘導することが多いが、失禁状態の方が時にある。	1	それぞれの排泄パターンをよく知った上でごなるべく失禁状態のないように、本人さまにとってより良い支援ができるようにしたい。
		59 外部評価 26	<b>入浴を楽しむことのできる支援【外部評価】</b> 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	ご希望が出ることは非常に少ないので、どうしても当方の都合で交代入浴していただくことが多い。	1	季節により、入浴剤を使用したり、楽しめるよう配慮したい。又個々の希望を当方からお聞きすることも考えている。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	60	<b>安眠や休息の支援</b> 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	各居室の環境を居心地の良いよう常に整備に努めている。又夜間安心してよりよい睡眠が取れるよう職員が配慮している。(室温の管理、灯り等)	0	
		(3)	その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 (自己 61~66・外部 27~28)	自己評価6項目・外部評価2項目	2	
		61 外部評価 27	<b>役割、楽しみごと、気晴らしの支援【外部評価】</b> 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	それぞれのケアプランに基いたレクリエーションなどを計画し実施している。ご本人様の意見も多く取り入れ計画するようにしている。もっと内容的な充実を図れていない。	1	実施に基き、その後の反応効果などの検証をして、発展的に支援できるようにしたい。(ケアカンファなどの有効的活用が必要)
		62	<b>お金の所持や使うことの支援</b> 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	紛失や盗難防止のためお小遣いは事務所にて預かってもらっているが、ご希望のときは出してもらい使えるような体勢にしている。	0	
		63 外部評価 28	<b>日常的な外出支援【外部評価】</b> 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	現在のところ、散歩や日光浴、などしか実施していない。身体的状況でできる方は買い物の同行をお願いしている。	1	希望があればそれに沿えるよう支援したい。こちらから提案し、外出しながら気分転換、季節を感じ取る、などしていただけるようしたい。
		64	<b>普段行けない場所への外出支援</b> 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	年間行事として、初詣、花見、ハイキングなど計画実施している。	0	
		65	<b>電話や手紙の支援</b> 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご家族の同意の元、電話は自由に使えるようになっている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	66	<b>家族や馴染みの人の訪問支援</b> 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるように工夫している	夜間（20時～朝7時）以外は自由に入出入りできるようになっておりご訪問の際はご希望により居室、共有空間ご利用できるようになっている。	0		
		(4) 安心と安全を支える支援(自己 67～74・外部 29～30)			自己評価8項目・外部評価2項目	4	
		67	<b>身体拘束をしないケアの実践</b> 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	全職員には身体拘束となる事柄を具体的に示唆しており事例において勉強する機会を持つようにしている。	0		
		68	<b>鍵をかけないケアの実践【外部評価】</b> 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	夜間のみユニット入り口には施錠しているが安全に支障のない限り入り口、居室には施錠しない。	0		
		69	<b>利用者の安全確認</b> 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	身体的な状況などにより、トイレでの更衣を止む終えず行ったり、安全のためトイレのドアを開け、見守りしたりと、必ずしもプライバシーの配慮があるとはいえない。又居室内の見える場所に下着類を置いて注意することもある。	1	共有部分に置いては必ず職員の見守りにおいてケアすることになっているが一般的観点から見たプライバシーをもっと重視したケアを徹底したい。	
		70	<b>注意の必要な物品の保管・管理</b> 注意の必要な物品を 律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	お一人お一人の状態までは考えていない場合が多い。	1	危険と思われる物品については決められた保管場所にて管理しているがそれぞれの状態と照らし合わせた、取り組みが必要と思われる。	
71	<b>事故防止のための取り組み</b> 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	リスクを未然に防ぐための教育は常日頃から行うようしている。止む終えずおきた場合しっかり反省し原因を突き止め後の防止策に活かせるようにしている。	0				

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいき きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	72	<b>急変や事故発生時の備え</b> 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	基本的な急変時の対応はできているが、職員によっては熟知していない者もいる。職員の一部は救急救命訓練を受けたものもいるが全職員ではない。	1	利用者ごとの急変時の対応のマニュアル作りを早急に行いたい。又救命訓練を受けた者よりの啓蒙を他の職員へできるようにしたい。
		73 外部評価 30	<b>災害対策【外部評価】</b> 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年一回の避難訓練において職員間で非難の方法を話し合っているが、実際に行うことはしていない。避難場所などは地域の場所をお願いしている。	1	実際のシュミレーションに従い訓練の方法を具体的にを行うよう考えている。
		74	<b>リスク対応に関する家族等との話し合い</b> 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	転倒などのリスクについてはお話をいただいている。ご本人の動きをなるべく抑圧しなくすむよう配慮しているが、止むを得ない場合、ご家族に相談し、安全を考慮する方法をとっている。	0	
		(5)	その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 (自己 75~81・外部 31)	自己評価7項目・外部評価1項目	1	
		75	<b>体調変化の早期発見と対応</b> 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	お一人お一人の特変についてはどのような細かい事も管理者へ報告し速やかに対応できるよう連絡経路、処置対応づくりに努めている。	0	
		76	<b>服薬支援</b> 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	過去数回服薬ミスを起こしている。そのときの教訓を生かし職員間の情報共有に努めている。	1	各スタッフ処方箋に目を通し、各薬の内容と効果の内容をを把握し服薬管理を正しくできるよう指導を行いたい。
		77	<b>便秘の予防と対応</b> 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	排便のチェックは常時行っており、予防策として繊維食品、乳製品の摂取、運動の確保ができるよう努めている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	78	<b>口腔内の清潔保持</b> 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	口腔ケアは毎食後行っている。風邪予防のためにも舌ブラッシングを促し行うようにしている。	0	
		79	<b>栄養摂取や水分確保の支援【外部評価】</b> 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分量は一日1300cc以上を目安に摂取できる機会を作りお出ししている。食事については緑黄色野菜を多く摂取できるよう考えた献立で提供している。	0	
		80	<b>感染症予防</b> 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	感染症マニュアルを用意しており特に予防については意識するようにしている。	0	
		81	<b>食材の管理</b> 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	キッチン衛生管理表に記入することにより各担当者が常に意識付けできるようにしている。又実際に決まったものは必ず消毒するようにしている。食品については数日に一度買い物するため、新鮮なものを使用している。	0	
	2	その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)~(2) (自己 82~89・外部 32~33)		自己評価8項目・外部評価2項目	1	
	2 生活の環境づくり	(1) 居心地のよい環境づくり(自己 82~86・外部 32~33)		自己評価5項目・外部評価2項目	0	
		82	<b>安心して出入りできる玄関まわりの工夫</b> 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	入り口付近には季節ごとの調度品を飾り訪問者を歓迎の気持ちでお迎えできるようにしている。	0	
		83	<b>居心地のよい共用空間づくり【外部評価】</b> 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	全ての空間において季節の物や入居者が心の和むような物を配置し又生活感を感じ取っていただけるよう配慮している。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	2 その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	84	<b>共用空間における一人ひとりの居場所づくり</b> 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共有空間の所々に椅子を配置し又、和室も常に開放し自由に横になったりできるようにしている。	0		
		85 外部評価 33	<b>居心地よく過ごせる居室の配慮【外部評価】</b> 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	各居室には写真や絵など飾っていただきご本人が落ち着けるよう工夫に努めている。	0		
		86	<b>換気・空調の配慮</b> 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っていきます	一日数回は窓を開け換気に努めている。またトイレなどは臭気が無いよう清潔に努め汚物などは全て戸外に出している。	0		
		(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり(自己 87~89)			自己評価3項目	1	
		87	<b>身体機能を活かした安全な環境づくり</b> 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	各所には手すりが整備されており廊下にも障害物は一切置かないようにしている。床も常に小さなおみなど落ちていないよう注意を払っている。	0		
		88	<b>わかる力を活かした環境づくり</b> 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	常に声かけコミュニケーションを大切にし受容の精神で接することを心がけている。ご本人でできることは時間がかかってもできるよう支援している。	0		
89	<b>建物の外周りや空間の活用</b> 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	天気の良い日は外気浴を兼ね庭を散策する機会を作っているが車椅子では入りにくい庭になっているため、緑や季節を楽しめるまではいたっていない。	1	表玄関の活用をもっと行いできる範囲の外回りの工夫を考えている。外気浴だけではなく季節の植物をもっと楽しんだり、育てることなどについても感じていただけたらよい。			

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
サービスの成果に関する項目				取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	該当 番号	
サービスの 成果に 関する 項目	90	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらいの 利用者の1/3くらいの ほとんど掴んでいない	1		
	91	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない	1		
	92	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	93	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	2		
	94	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	2		
	95	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	96	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	97	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどできていない	2		
	98	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねてきている	ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない	3		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいき きたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
サービスの成果に関する項目		99	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない	2	
		100	職員は、生き活きと働けている	ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない	2	
		101	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1	
		102	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族と 家族等の2/3くらいと 家族等の1/3くらいと ほとんどできていない	2	
サービスの成果に関する項目				取り組みの成果 (該当する箇所を印で囲むこと)	該当番号	

サービスの成果に関する項目の該当番号は、選択肢の該当番号を示します。

番号の上位は自己評価の項目番号を指します。外部評価項目は、番号欄に網掛けをして外部評価と表示し、外部評価の項目番号を下に表記しています。

項目の横の重点は、外部評価の調査結果で重点項目として概要表に記載される項目です。

また追加は、福岡県が国の参考例に自己評価から外部評価に加えたり、新たに自己評価も含めて独自に追加した項目などです。